

REPORT

アンダーズ 東京を 100 倍楽しむ方法



ホテルジャーナリスト 小原 康裕

慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。
85年築地原健備代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。
JHRC、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jbrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



2月6日、アンダーズ 東京の51階「シェフズスタジオ」でシティカードジャパン(株)主催によるイベント『アンダーズ 東京を100倍楽しむ方法』が開催された。参加者はダイナースクラブ会員のホテルラヴァーズの皆さんで、シティカードジャパンの井上聡氏があいさつした後、アンダーズ東京のアルノー・ド・サン＝テグジュペリ総支配人とホテルジャーナリストの小原康裕氏がトークショーを行なった。

アルノー総支配人は「世界中のグルメやホテルを体験しているダイナースクラブメンバー(参加者)の皆さまにお会いできて光栄です。私はロンドンのアンダーズでも総支配人を務めていましたが、このアンダーズというブランドはローカルの持つ文化や雰囲気、サービスにも反映することをコンセプトに置いています。本日は当ホテルのメニューだけでなく、アンダーズ 東京というストーリーも楽しんでいただければと思います」とコメント。

続いて小原氏は「世界中のリーディングホテルを数々見てきましたが、このアンダーズ 東京は世界に引けを取らないほど素晴らしい。実は先日、私もこのホテルに泊まりましたが、日本の良さを取り入れたデザインやホスピタリティ、東京タワーを正面にした高層階からの夜景は見事としか言いようがありません。今日は皆さんと至福の時間を共有できることをうれしく思います」と話し、会場は知的で優雅なひとときを迎えた。(取材 長谷川耕平)

ダイナースクラブとは、1950年にアメリカで実業家マクナマラ氏と友人の弁護士シュナイダー氏によって設立されたクレジットカード会社で、「ダイナース」は食事をする人という意味を持つ。日本のダイナースクラブは1960年に創立し、プラスチック製のクレジットカードを世界で初めて使いだしたカード業界のパイオニアとしても知られている。